

## 会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		豊島区政策評価委員会(平成30年度第1回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課・長期計画担当課長・行政経営課
開催日時		平成30年9月11日(火) 18時00分～18時45分
開催場所		庁議室(庁舎5階)
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 委員長選任</li> <li>3. 副委員長指名</li> <li>4. 会議録等の取り扱い</li> <li>5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度政策評価委員会における外部評価実施について</li> <li>(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> </ol>
公開の 可否	会議	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	原田 久(立教大学法学部教授)・外山公美(立教大学コミュニティ福祉学部教授)・益田直子(拓殖大学政経学部准教授)・猪岐幸一(公認会計士)・池田隆年(特定非営利活動法人日本ファッション協会監事／フェロー)・大崎映二(行政アドバイザー)・齊藤雅人(豊島区副区長)・金子智雄(豊島区政策経営部長)
	事務局	企画課長・行政経営課長

## 審議経過

### 1. 開 会

企画課長： それでは、ただいまから平成30年度第1回政策評価委員会を開会いたします。委員長の選任が終わるまで事務局の私のほうで進行をさせていただきます。初めに、本年度から新たに就任した委員をご紹介します。副区長の齊藤委員と政策経営部長の金子委員でございます。なお、事務局として、行政経営課長の渡邊、そして私、企画課長の澤田でございます。本日はよろしくお願いをいたします。

### 2. 委員長選任

企画課長： 続きまして、委員長の選任、副委員長の指名に移らせていただきたいと思います。参考の1-3、運営要綱第4条に定めるとおり、委員長は互選でお選びいただきまして、副委員長は委員長が指名することとなっております。まず、委員長の選任について、委員のお考えを伺えればと思います。

G委員： ここは、経験豊かな原田先生にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。（異議なしの声あり）

企画課長： それでは、原田委員に委員長をお願いしたいと思います。以降の進行につきましては、原田委員長にお願いできればと思います。

原田委員長： どうぞよろしくお願いいたします。例年どおり、皆様方からのご発言を伺いながら進めてまいります。

### 2. 副委員長指名

原田委員長： 副委員長でございますが、前年度同様、外山先生にお願いをしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

外山委員： よろしくお願いいたします。

### 3. 議 事

#### (1)平成30年度政策評価委員会における外部評価実施について

原田委員長： それでは、早速、本日の議事に入ってまいりたいと存じます。本日は、1回目ということで幾つかご相談しないといけないことがございます。例年どおりではありますけれども、まずは会議録等の取り扱いについて、これは企画課長、よろしくお願いします。

企画課長： 資料の1-4にありますとおり、本区は、審議会等は原則公開、会議録はホームページで公開をすることとしております。会議録につきましては、委員長、区理事者は職名を明らかにし、その他の委員の方々に関しましては、A委員といったようなアルファベット形式で、表記をいたします。会議録は、公開前に委員の皆様にご確認をいただいております。

本日の傍聴はゼロということでございます。よろしくお願いをいたします。

原田委員長： このあたりは例年どおりですので、これでお認めください。早速、中身に入ってまいります。本年度の政策評価委員会における外部評価の実施についてということでございます。

この外部評価の実施について、資料の1-1から1-3まで説明をお願いします。

行政経営課長： それでは、資料1-1について、説明をさせていただきたいと存じます。平成30年度政策評価委員会における外部評価実施概要案でございます。1の目的でございますが、

平成29年度より施策評価を本格実施してございます。事務事業評価に加えまして、72の施策の評価を行っております。これは内部評価ですので、こちらを専門的な知見から内部評価の結果の妥当性等について、チェックして、評価の客観性を確保するというのと、専門的知見から評価手法等についての助言を賜りたいということが目的でございます。

2の評価対象施策の選定基準でございます。以下の基準により4施策を抽出してございます。

抽出の基準でございます。まず、1番目、業績測定により進捗状況が目標値と大きく乖離した施策のほうから2施策、具体的には達成状況が未達成の中から1施策、大きく超過達成したものから1施策を選択したいと考えてございます。

②でございます。基本計画の重点施策24の施策のうちから2施策、具体的には豊島区のまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理という観点も含めたものから2施策を選びたいと考えております。

また、昨年度、実施しておりますので、施策もかぶらないものというところも含めまして、③のところでございますが、28年、29年度に試行も含めて実施しました6部局の施策も除外をしたものでございます。

それらを含めまして、3の評価対象施策の選定（案）でございます。

まず、1点目、達成状況が大きく超過達成しているというところから、「みどりのネットワークの形成」、こちら環境清掃部のものでございます。達成率が既に141.2%になってございます。

2つ目が、達成状況が未達成、54%ということで都市整備部の「良質な住宅ストックの形成」、3点目、4点目が重点施策からということでございますが、1点目が総務部の「あらゆる分野における男女共同参画の推進」、そして、4つ目が「新しい時代を拓く教育の推進」ということで、教育部のものを選定してございます。

裏面をおめくりください。開催スケジュールでございます。

本日、この4施策について、ご了解いただければ、外部評価ということで、それぞれの施策の所管部長及び課長出席のもとご審議いただければと存じます。第2回、第3回が外部評価となっております。第4回につきましては、11月9日に外部評価の課題整理等を行いたいと考えてございます。

5番の外部評価の実施体制でございます。第2回、第3回につきましては、二つの分科会を設置いたしまして、各分科会が1日1施策を担当する形でお願いしたいと考えてございます。分科会のメンバーは、記載のとおりでございます。1回当たり、1施策で90分から大体2時間、90分程度を想定してございます。

6番、外部評価の公開でございます。外部評価につきましては、広く一般区民への公開により実施することといたしまして、区政の透明性の拡大及び区民への説明責任の向上を図っていきたいと考えてございますので、広報としまやホームページにより周知してまいりたいと考えてございます。

なお、資料1-2につきましては、速報値でございますが、施策評価の一覧を載せてございます。72の施策全部を載せてございます。また資料1-3につきましては、今回評価いただく4施策の施策評価表でございます。

説明は以上でございます。

**原田委員長：** ありがとうございます。

今日は、基本的に、この施策のチョイスでよろしいかというところが、問題にはなるかなと思いますけれども、先ほどの説明にもありましたように、以前取り上げた部局とはかぶらないようにという感じですか。

**行政経営課長：** はい。既に6部局が終わっておりますので、そういったところも、今回は勘案しまして、選んだというのもございます。

**原田委員長：** 私、まだ内容をしっかり把握しているわけではありませんけれども、大きく超過達成であるとか、未達成というのが、一見すると事業を見てみないとわからないですけど、インフラ系の部局になるのかな。環境清掃部はどんな課がぶら下がっているんですか。

都市整備部は、大体想像がつくんですが、環境というのは、清掃と、あとどこですか。

**行政経営課長：** リサイクル、環境保全、環境政策になります。

**原田委員長：** なるほど。わかりました。そうしたところの部だということでございます。

分科会のメンバーもそれぞれ従来どおりで半分ずつ対応するというところでございますが、何かございますか。よろしいですか。はい、どうぞ。

**D委員：** 今、委員長から確認をさせていただいた内容と重なるところがありますけれども、この評価対象をなぜ選んだのかということをお公にすると思うので、念のための確認になります。

目標超過達成、大きく超過達成で、「みどりのネットワークの形成」を選びましたということになります。141.2%ということですが、それよりも大きく達成率が超過しているものとしましては、「多文化共生の推進」というものが、この施策評価一覧（速報値）によれば、あるかと思えます。2-1-1、2-1-2でございます。評価担当部が政策経営部ということもあるのかもしれませんが、豊島区の特徴として、多様な方が住んでいる、外国人の方がとても多いということもありますので重点的な施策としているのもわかるなというふうに思えます。

それから、2ページ目の下から4番目、8-1-4、アートカルチャーによる魅力の発信、これも重点施策になっておりますけど、172.6%ということで大きく超過となっております。文化商工部ということで、もしかしたら、過去にやっけてきているからかもしれませんけれども、その辺のこともお伺いできればと思います。

それから、一方で達成状況が未達成ということで選ばれたものは、54.0%の住宅ストックですが、それに非常に近いものが速報値の2枚目の7-2-1「観光資源の発掘と活用」、これも重点施策で文化商工部となっておりますけれども、これを選択しなかった理由というところも教えていただければと思います。

**原田委員長：** どうしてチョイスしたのかということについて、やはり外部評価ということもあって、説明しないといけないだろうということが、ご質問の趣旨だと思います。

どうでしょうか。

**G委員：** 確か、ロジカルに決めています。そのロジックを説明してください。

**行政経営課長：** 資料1-1の施策の抽出基準の③のところですけども、それぞれの部局というのは、なるべく今回は新しいところの部局でやろうというところがございます。

その中で、先ほどの観光も未達成に近い数字だということがございましたが、こちら、

文化商工部が所管しているところというのもございましたので、今回は、都市整備部の住宅ストックを選んでございます。

それから、アートカルチャーにつきましても、重点施策の中にはございましたけれども、ほかにも重点施策のところではやっていないところの部局というのもございました。アートカルチャーは文化商工部が所管しておりましたので、こちらについても、除外をさせていただいたというのがございます。

**原田委員長：** 施策の抽出基準の既にやったところは除いたということですね。確かに、チョイスする理由としては、今課長がおっしゃったとおりですけども、特にここ、今、D委員が挙げられた施策でとりわけ問題があるのであれば挙げるべきだと。そこまではないという感じですか。形式的にやったということであれば、引き続き、これからも一巡目が終わったら二巡目ですとか、形式的にやったとかというような説明がやっぱり要るでしょうね。これからの話で。

**行政経営課長：** 多文化の関係ですけれども、多文化共生の推進、確かに、政経部が所管しております、③のところ、政経部は抜けているけれども、政経部長が委員としているということも、今回はその関係もありまして、選定していないというところがございます。

**D委員：** 今後、政経部の担当している施策は、誰が評価をすると考えておけばよろしいですか。外部評価です。

**行政経営課長：** 分科会の中で、政経部長が関わっていない分科会のメンバーに入れれば、審査はできると思います。

**原田委員長：** そうでしょうね。

よろしいですか。どうぞ。

**D委員：** この抽出基準を公にするかどうか、よく理解できていませんけど、抽出基準の優先順位がもしあるようであるならば、今度、順番を変えていただいたほうが、多分聞いている人にとって理解しやすいかなと思いました。

以上です。

**原田委員長：** これからの話になりますけれども、三つの選定基準で、四つ施策を選んだと書いてあるわけですけど、これとこれからこういう結論になって、これをやるというふうに、少し書き下してくださると、これ自身が、多分、情報公開の対象になると思うので、よりわかりやすいかなと。恣意的に選んでいるわけではないということをお知らせする形で、次回以降は配慮していただければと思います。

ほかいかがでしょうか。どうぞ

**E委員：** 改めてお聞きしますが、この施策評価表自体は、既に公表されていますか。

**行政経営課長：** 30年度の政策評価表は、まだ外部には公表しておりません。

**E委員：** 29年度はしたと。

**行政経営課長：** はい。しております。

**原田委員長：** 例年はやっています。ただ、30年度は、その公表の時期にまだこれは至っていないということでよろしいですね。

**E委員：** はい。

結構です。

**原田委員長：** では、この4件で進めてまいりたいと思います。

### 3. 議事

#### (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

原田委員長： では、続いてですが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況についてということで事務局からご説明をお願いします。今度は企画課ですね。

企画課長： 資料の1-4-①と資料1-4-②について、まち・ひと・しごと創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）の実績についての資料となっております。

それでは、資料1-4-①の説明をさせていただきます。左側にナンバーが付されておりまして、基本目標が記載されております。

ご案内のとおり、平成26年5月、日本創成会議から、本区が消滅可能性都市と指摘を受けたわけでございます。その対策として四つの柱を立てまして、そのうちの1つ目が「子どもと女性にやさしいまち」という基本目標でございます。全体で12個の指標が、KPIの数がございます、Aの「順調」と記載されたもの、この表でいうと真ん中のほうですね。右から数えて3つ目の欄でございます。Aとされたものが9件、Bの「遅れ気味だが達成可能」とされたものが1件、Cの「改善が必要」とされたものが2件ございました。Cがついたものについて、重点的にご説明させていただきたいと思っております。上から2つ目、NO. 2でございます。KPIの名称がワーク・ライフ・バランス推進企業認定数でございます。進捗状況C、右側に評価についての説明がございます。1行目後半でございますが、新たに社会保険労務士による個別相談会を組み込み、認定申請につながるよう努力したところですが、相談会への応募も想定10社を下回る4社、新規認定企業は5社となり、今年度も厳しい状況である。認定により、入札時の加点という直接的なメリットを受けられる区内建設業者がほぼ認定済みとなったことが、申請企業数の伸び悩みにつながったとのことで、31年度の目標を65社としているところ、29年度実績は48社という結果でございました。

そして、2つ目、NO. 8でございます。KPIの名称が遊休不動産活用事業化件数（累計）となっております。説明といたしましては、29年度はリノベーションスクールの開催を休止ということでございます。30年度4月から空き家活用条例が施行され、空き家の所有者から登録された物件を、NPO法人2団体に活用の支援業務を委託することが想定されておりまして、31年度目標が100件のところ、29年度実績が5件で伸び悩んだということでCがついてございます。

次に、2ページ目は、「高齢になっても元気で住み続けられるまち」という2つ目の基本目標でございます。KPIの数といたしましては、5つございましたが、Aの「順調」が4件、Bの「遅れ気味だが達成可能」は1件、Cの「改善が必要」はゼロという状況でございました。

次に、2ページ下段、基本目標3「様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち」につきましては、7つのKPIの項目がございましたが、Aの「順調」が5件、Bの「遅れ気味だが達成可能」が1件ということでございました。なお、実績値の集計等により評価が今回不能となったのが1件ということでございました。これはCCRCについて、移住に関する説明会への参加数でございますが、これは30年度から実施予定ということで、今回バーが引いてあります。

次に、3ページ目でございます。基本目標の4つ目、「日本の推進力」でございます。KPIといたしましては、全部で7項目ございまして、Aの「順調」が3件、Bの「遅

れ気味だが達成可能」は1件、Cの「改善が必要」が2件、そして、「実績集計前により評価不能」が1件という結果でございました。Cにつきましては、ナンバーでいうと32番でございます。K P Iの名称がオープンカフェ・マルシェ等の開催回数の累計ということでございます。常設の施設設置に向けた取り組みを進める予定ということですが、31年度の目標が200件に対して、29年度の実績が144件ということで、所管としてC評価ということでございます。また、最後に35番でございますが、K P I名称、東京5区合同大商談会・ものづくりメッセ参加企業数ということでございます。評価についての説明といたしましては、年平均200社・団体を目標にしているが減少傾向ということでございました。31年度の目標が累計で1,200社・団体ということですが、29年度は752社ということで、所管としてCの評価ということでございました。

資料1-4-②ですが、ただいま申し上げた内容につきまして、集計したものでございます。個々の目標の数、K P Iの数等につきましては重複しますので、説明は省略させていただきますが、合計といたしまして、全部で31のK P Iの数のうち、Aが21件、Bが4件、Cが4件、そして、評価不能が2件という結果でございました。

説明は以上でございます。

原田委員長： ありがとうございます。

今回のご説明は、前回の実績一覧をご覧くださいということと同時に、どうしてこの二つをチョイスしたのかということになるかなと思いますけれども、基本的には、Cの中から選んだというような理解でよろしいですか。

企画課長： はい。

原田委員長： 何かご質問、ご意見はございますか。

何かお気づきの点、もし、これでよろしいということになれば、次回以降、それぞれの分科会で、実際の外部評価をお願いするということでございます。

全体的には、まち・ひと・しごとの進捗状況については、K P Iの達成状況という点でいくという理解でよろしいですか。

企画課長： お見込みのとおりでございます。

原田委員長： その中で、比較的遅れがちなものが幾つかあるということですが、これは、昨年度の政策評価委員会でも話題になりましたけれども、状況が随分変わってこうなっているのか、それとも、状況は全然変わっていないけれど、なかなか達成ができていないのか等々、実際には、次回以降話題になってくるかなと思います。

何かご意見はございますか。よろしいですか。

では、きょうはこのまち・ひと・しごとの全体の進捗状況についても、ご覧いただいたということでございます。

一応、きょうの案件としては、この二つをご覧いただいて、次回以降に備えるという事実上、キックオフ的な会議ということでございます。それ以外に、ほかに案件というのはございますか。

### 3. 議事 (3)その他

行政経営課長： 次回の委員会でございます。10月1日月曜日、午後6時からでございます。会場は、9階の第一委員会室及び第二委員会室を予定しています。

外部評価の1回目を実施させていただきたいと存じます。

以上でございます。

**原田委員長：** それでは、次回から外部評価2回ということでございます。引き続き、皆様方、ご協力よろしくお願いいたします。

本日の政策評価委員会、これにて終了といたします。ありがとうございました。

会議の結果	<p>(1) 原田 久委員を委員長に選任する。</p> <p>(2) 副委員長は、外山 公美委員を指名する。</p> <p>(3) 会議は公開とし、会議録での発言者名は匿名表記する。</p> <p>(4) 外部評価の実施にあたり、評価対象施策の選定や実施方法等について意見交換等を行った。</p> <p>(5) まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について意見交換等を行った。</p>
-------	--

提出された資料等	<p><b>【資料】</b></p> <p>資料1-1 平成30年度政策評価委員会に置く外部評価実施概要(案)</p> <p>資料1-2 施策一覧(速報値)</p> <p>資料1-3 施策評価表</p> <p>別紙1-4① 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重要業績評価指標(KPI)実績一覧</p> <p>別紙1-4② KPIの進捗状況 集計結果(基本目標単位)</p> <p><b>【参考資料】</b></p> <p>参考1-1 豊島区政策評価委員会委員名簿(平成30年度)</p> <p>参考1-2 政策評価委員会に関する条例の抜粋</p> <p>参考1-3 豊島区政策評価委員会運営要綱</p> <p>参考1-4 豊島区審議会等の会議の公開に関する要綱</p>
----------	--